

10アレンツキャンフの先生方

拝啓

梅雨の候、新型コロナウイルスによる影響が全国的に続く中、10アレンツキャンフの皆様は益々お忙しい日々を過ごされていると存じます。

さて、この度1年9ヶ月の支援を終え、無事卒業の日を迎えることができました。8ヶ月間の不登校、別室、五月雨登校を経験した娘ですが、今では毎日自分の力で学校に通うことができている。学校で少し嫌な出来事があったとしても、先生や友だちの力を借りてやり過ごすこともできるようになりました。

佐藤先生はじめ、10アレンツキャンフの先生方に見守っていただきながら、親子で不登校を乗り越えていったことを心から感謝申し上げます。

支援をお願いした不登校は、中に始まったものでしたが、娘は小いでも登校渋りがありました。

小学校では、母が付き添い登校あることでやり過ごすことができましたが、中1の不登校は母の対応ではどうすることもできませんでした。

中学での不登校は、地元を離れた中学校に入学したことがきっかけとなりました。入学当初は委員会に部活にと新しいことに挑戦し、楽しんで学校に通っているように

見えません。一方で、周囲の車輪にうまく入れず孤立  
感が増えたり、委員会や部活で忙しく、慣れない  
生活に疲れ、どんどん自信を失っていききました。

家庭では いろいろお様子が増え、6月には朝  
の登校を淡くするようになりました。最初は車で送るこ  
とでなんとか登校できていました。やがて、教室に入れな  
くなり、別室登校へ。別室でも 同級の子の目が怖く、  
逃げようとするようになるようになり、やがて 夏休み前  
には、車から降りることができなくなり、完全に不登校  
となりました。家から出ることもできず、家の中だけが  
娘の安心できる場所になっていました。

スクールカウンセラー、お医者様、フリースクールなど、  
色々な機関に相談しました。「寄り添ってあげよう」や  
「心のエネルギーが溜まるまで待たせよう」といったアド  
バイスをいただきましたが、具体的にどうすれば状況  
が改善するのか分かりず、ただただ悩むばかりの  
毎日でした。

娘への対応を暗中模索する中、10アレンツキャンパ  
ルを知り知る機会がありました。すぐに購入  
して読んで 水野先生の著書には驚きました。著書  
の中で、子どもの成長・自立を妨げるとされる 家庭  
教育のあり方が、そっくりそのまま 我が家  
にあてはまっていたからです。

さっそく 10アレンツキャンパルにお電話したところ、

丁寧にお話を聞いていただき、我が家の家庭教育を見直すことで、娘の状況、さらには弟や妹の二れからを改善できるかもしれないと感じました。その時、幸運にもノアレソウキャンパに出会えたことで、家族みんなで笑って過ごす今があります。

その後スタートした復学支援コースでは、まず子ども達への対応を見直して、家の中を落ち着けることから始めました。

家庭1ートから、私の子ども達への対応は、やはり幼い頃の指摘をいただき、年相応の対応を心がけました。すると、まず弟と妹に変化が見られ、やがて不登校になって以来赤あやみ返りを起したように幼くっていた娘の様子がぐっと落ち着いていきました。

その後は、復学に向けた準備として「冷たい対応」をスタートしました。学校に行っていないことを悲しんでいることが娘に伝わるように接します。再び家の中の空気が冷んだものになるため、この対応をとる期間はとても辛いものでした。ちやうどこの時期に参加させていただいた「親の会」で支援を卒業された方のお話を聞けたことが励みになり、乗り切ることができましたように思います。

皆さんの励ましには感謝しかありません。

支援開始から3ヶ月ほど経った頃、佐藤先生の  
ご指導のもと 父性対応での登校刺激を試み  
ました。この時の父性対応は直接復学にはつな  
がりませんでした。その後色々なことで父性対  
応により家庭のシステムを見直したことが、今につな  
がっていると感じております。

その後、ダイレクトアプローチに切り替えることになり、  
石川先生、鈴木先生、山下先生と多くの訪問カウンセ  
ラーの先生方に支えていただきました。そして、佐藤  
先生、水野先生からのコーチングでは、現状を変え  
なければ、と思いつ、どうしていいかわからず混乱し  
ていた娘の心をほぐして、前向きな気持ちに  
変えていただきました。

登校に向けて準備を始めたところで、コロナ  
禍による緊急事態宣言。復学の予定が伸びてしま  
いましたが、娘の気持ちが切れないよう、石川先生  
や鈴木先生に支えていただきました。

そして、休校明けの始業式、無事復学を果たすこ  
とができました。復学当初は少し不安定な時期も  
ありましたが、復学から1年以上経った今、すっかり  
落ち着いています。

学校に戻り、色々な経験を積んでいく中で、  
幼かった娘の心はどんどん成長していています。  
少しずつ嫌なことは笑いに変えることが出来るように

になりました。学校での出来事、友だちとのくだらない会話... 色々なことを話してくれます。

家庭では毎日笑いが絶えません。

まだまだ、進学や就職.. 娘が悩んだり苦しんだりする場面はあると思いますが、今の娘なら、乗り越える心の強さを持っていると信じています。先生方に教えていただいた家庭教育を常に頭に置いて、娘たちを見守っていきたいと思います。

10アレンツィキャンプの先生方には、電話、メール、面談等 きめ細やかな対応で、我が家の不安定な時期を支えていただき、本当にありがとうございました。

今も不登校で悩まれるご家庭が多くあると思います。先生方のご活躍で一人でも多くの子ども達が明るい将来に向けた希望がもてるよう、いからお祈りいたします。

大変お忙しい毎日と思いますが、皆様どうかご自愛下さい。

敬具

令和3年6月9日